

⑤

令和 6 年度 神奈川県流域下水道事業会計

決算説明資料 ～グラフで見る決算～

県土整備局

1. 令和6年度における主な取組の内容 . . .	1
2. 決算の概要	10
3. グラフで見る決算書	13

（参考）流域下水道事業の概要

流域下水道では、相模川・酒匂川流域内の各市町から発生する下水を広域的に幹線管きよで処理場に集め、効率的に処理しています。

酒匂川流域下水道

流域関連市町（3市7町）

小田原市、秦野市
南足柄市、松田町
大井町、二宮町、中井町
山北町、開成町、箱根町

相模川流域下水道

流域関連市町（9市3町）

相模原市、平塚市、藤沢市
茅ヶ崎市、海老名市、座間市
綾瀬市、厚木市、伊勢原市
寒川町、大磯町、愛川町



1. 令和6年度における主な取組の内容

神奈川県流域下水道中期ビジョンの改定に合わせ、経営の視点を強化し、令和2年4月に移行した公営企業会計と両輪で持続可能な流域下水道事業に取り組むため、10年間の主要施策と収支の見通し等を示した「神奈川県流域下水道事業経営ビジョン（令和3年3月策定）」により、流域下水道事業に取り組みました。

神奈川県流域下水道中期ビジョン
平成23～令和2年度

公営企業会計移行
令和2年4月

経営の
視点

改定

神奈川県流域下水道事業経営ビジョン
令和3～12年度

1. 令和6年度における主な取組の内容

＜経営ビジョンの主要施策＞

(1) 効率的な老朽化対策

ア 改築更新の重点化

イ 適切な予防保全と維持管理の効率化

ウ 汚泥の集約処理

(2) 災害対策の強化

ア 施設の耐震化

イ 施設の耐水化

ウ 下水処理場のネットワーク化

エ 危機管理体制の強化

(3) 環境保全の推進

ア 水環境の保全

イ 地球温暖化への対応

(1) 効率的な老朽化対策

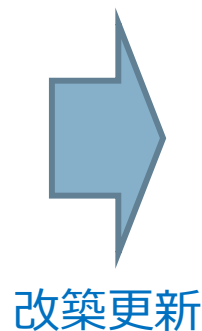
○改築更新の重点化

事業内容

- 令和6年度事業費：4,032,240千円
- 今後、老朽化する機械電気設備の増大が見込まれるため、経過年数や健全度による老朽化の度合いを評価するとともに、設備の故障などが発生した場合に利用者や自然環境等を与える影響を考慮し、厳選して改築更新に取り組む。

取組状況

- 汚泥処理に必要な設備の操作を行う機器の改築更新工事などを行った。



汚泥処理中央監視設備の改築更新（相模川流域下水道右岸処理場）

(1) 効率的な老朽化対策

○適切な予防保全と維持管理の効率化

事業内容

- 計画的な点検と修繕による適切な予防保全により、故障等のリスクの軽減と施設の延命化を図る。また、ICTの活用や管理情報の電子データ化などによる効率的な維持管理に取り組む。

取組状況

- 処理場等において機械設備等の計画的な点検及び修繕を行った。
また、管きよにおいて修繕を行い、延命化を図った。



修繕



管きよの修繕（相模川流域下水道綾瀬寒川幹線）

(2)災害対策の強化

○施設の耐震化

事業内容

- 令和6年度事業費：254,237千円
- 大規模地震時においても下水処理を継続するため、処理場への下水の取り込み、処理、消毒、放流に係る施設の耐震化を推進する。

取組状況

- 下水処理に必要な施設の耐震工事を行った。



耐震化



耐震工事（酒匂川流域下水道左岸処理場）

(2) 災害対策の強化

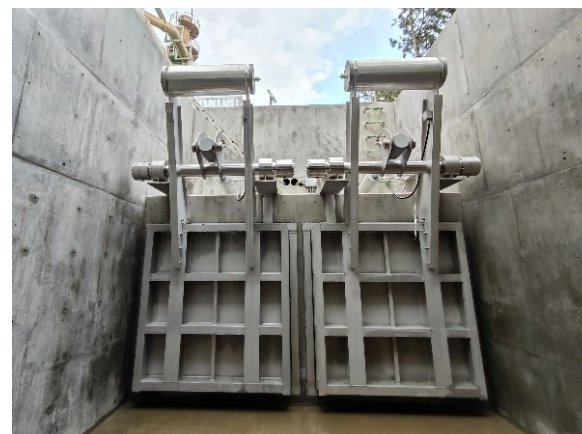
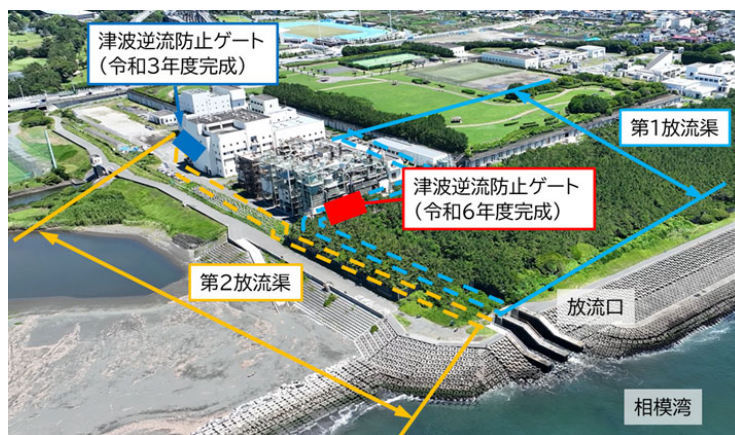
○施設の耐震化（津波対策）

事業内容

- 令和6年度事業費：123,369千円
- 相模川流域下水道左岸処理場では、処理水を直接相模湾へ放流しているため、大規模地震時における津波対策として、放流口（2箇所）から逆流を防止するゲートの設置に取り組む。

取組状況

- 津波逆流防止ゲート2箇所のうち、残り1箇所の設置が完了した。



津波対策工事（相模川流域下水道左岸処理場）

(2)災害対策の強化

○施設の耐水化

事業内容

- 令和6年度事業費：30,556千円
- 大雨による浸水時においても下水処理を継続するため、処理場及びポンプ場の特に重要な電源設備やポンプ設備等については、早期に耐水化を図る。

取組状況

- 下水を汲み上げる施設の電源設備等を浸水から守る対策工事を行った。



耐水化



耐水化工事（酒匂川流域下水道右岸処理場）

(3) 環境保全の推進

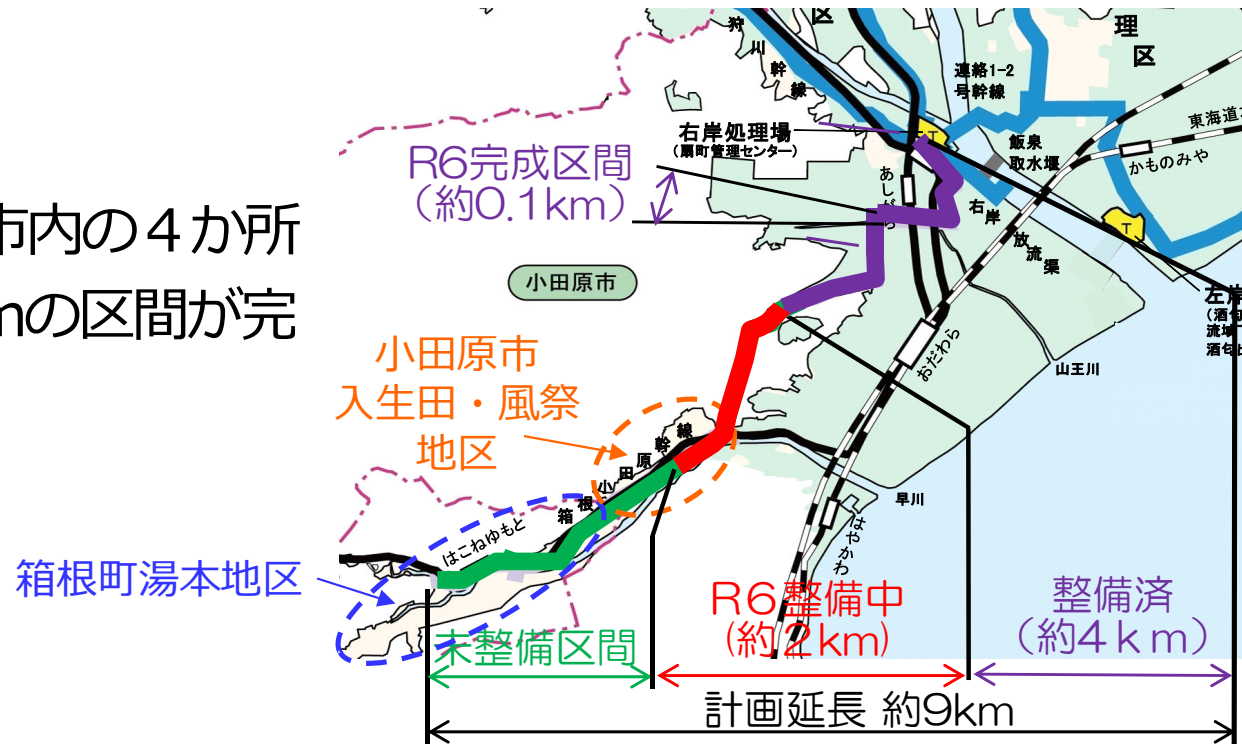
○水環境の保全

事業内容

- 令和6年度事業費：573,417千円
- 箱根の玄関口である湯本地区や、小田原市入生田・風祭地区における下水道普及のため、箱根小田原幹線を整備する。

取組状況

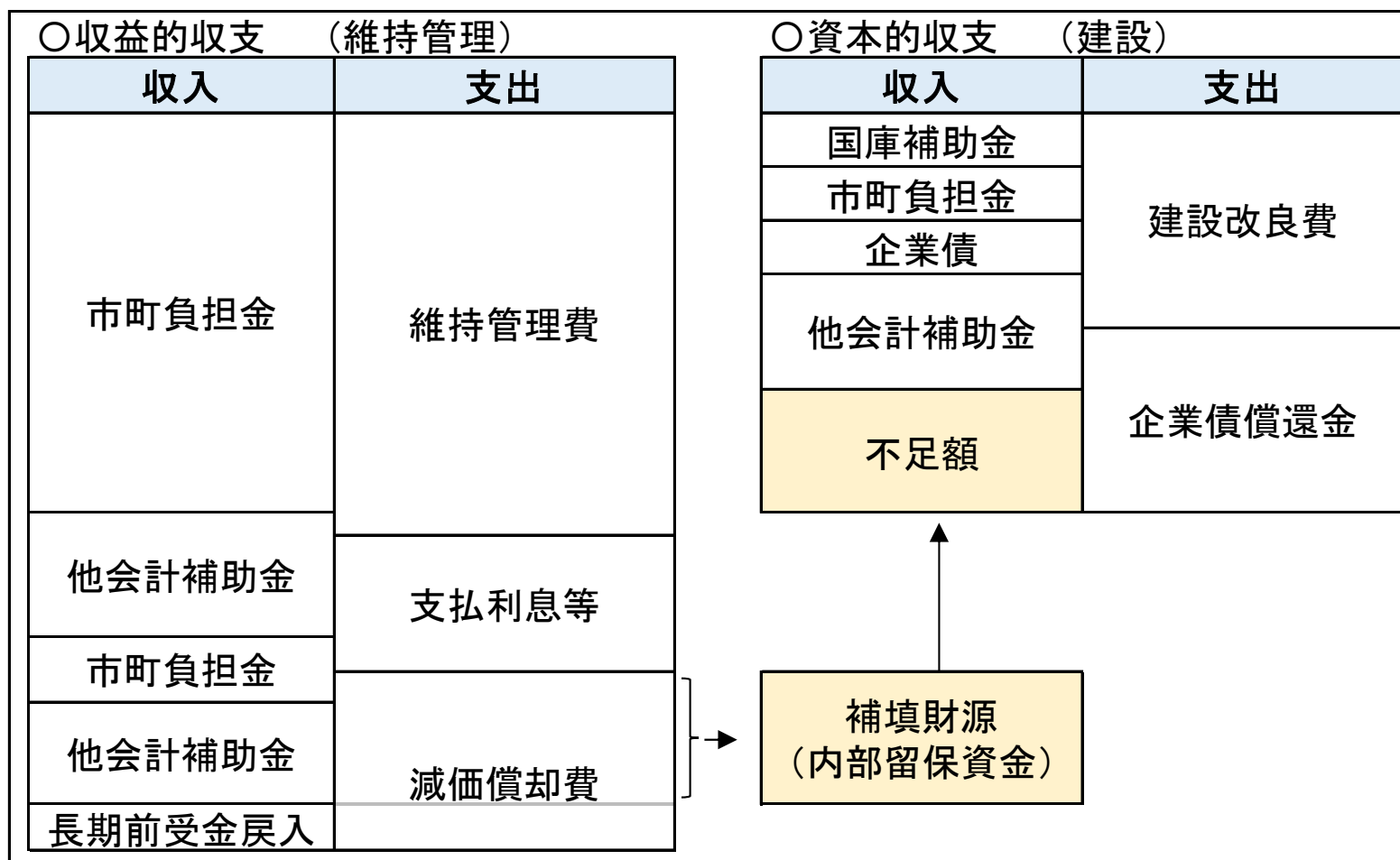
- 令和6年度は、小田原市内の4か所で工事を進め、約0.1kmの区間が完成した。



箱根小田原幹線の概要（酒匂川流域下水道）

(参考) 流域下水道事業会計の仕組み

- 収益的収支は、維持管理事業に係る収入および支出、
資本的収支は、建設事業に係る収入および支出
- 資本的収支では、支出が収入を上回るが、不足資金は、補填財源
(収益的収支で生じる内部留保資金) で賄われる。



2. 決算の概要

<収益的収支>

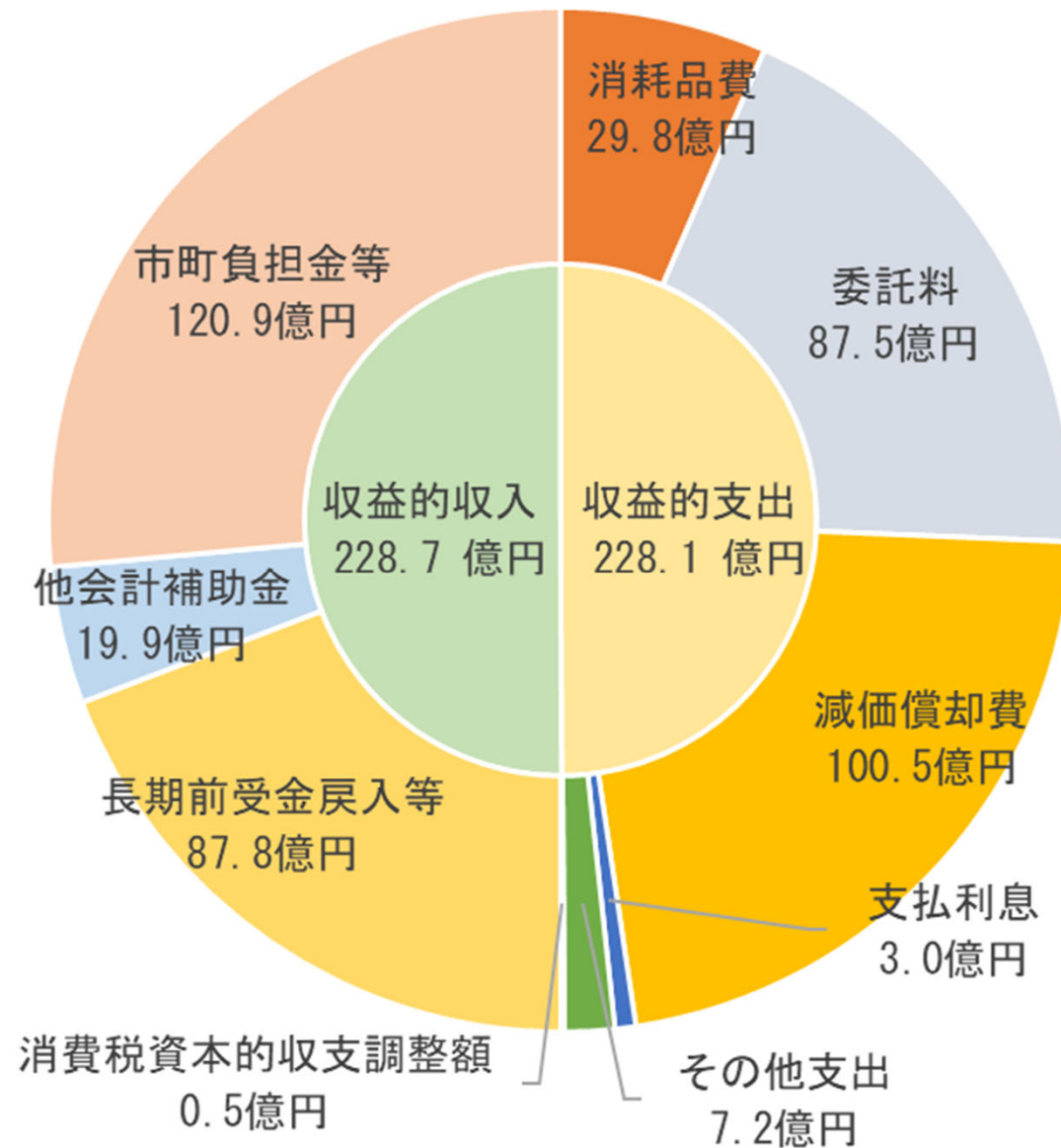
(単位：百万円)

科目等	令和6年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(A)	増減 A-B
収益的収入 a	22,871	21,880	991
営業収益	12,092	10,698	1,394
市町負担金等	12,092	10,698	1,394
営業外収益	10,778	11,181	△ 403
他会計補助金	1,993	2,071	△ 78
長期前受金戻入等	8,785	9,109	△ 324
収益的支出 b	22,814	21,825	989
営業費用	22,468	21,402	1,066
消耗品費	2,980	2,039	941
委託料	8,755	8,185	570
減価償却費	10,050	10,784	△ 734
その他支出	681	392	289
営業外費用	346	423	△ 77
支払利息	302	330	△ 28
その他支出	43	92	△ 49
消費税資本的収支調整額 c	57	67	△ 10
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	0	△ 13	13

(注) 表及びグラフ等の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所がある(次頁以降同様)。

2. 決算の概要

<収益的収支>

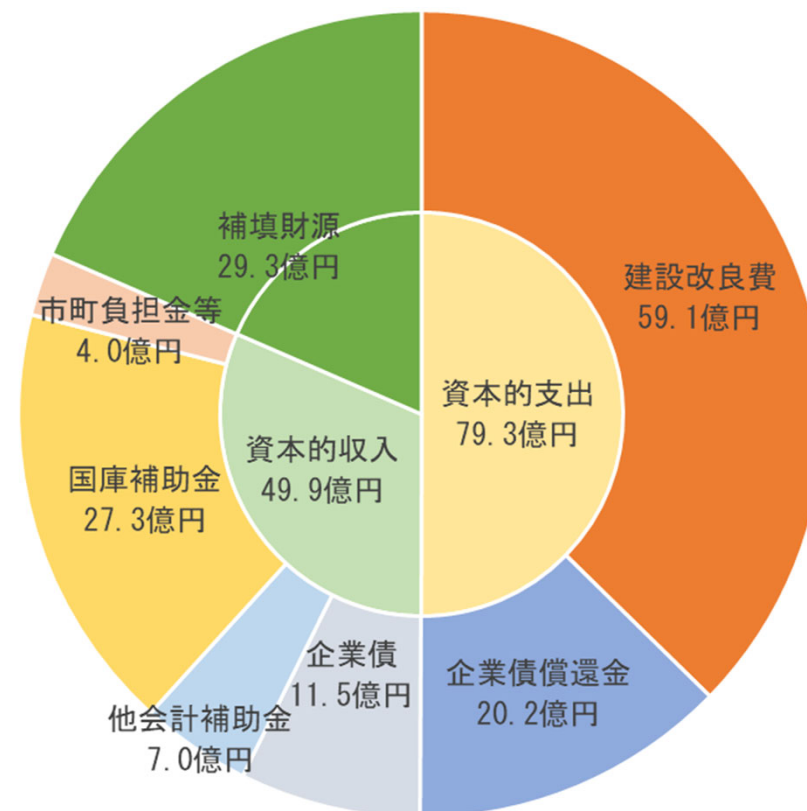


2. 決算の概要

<資本的収支>

(単位：百万円)

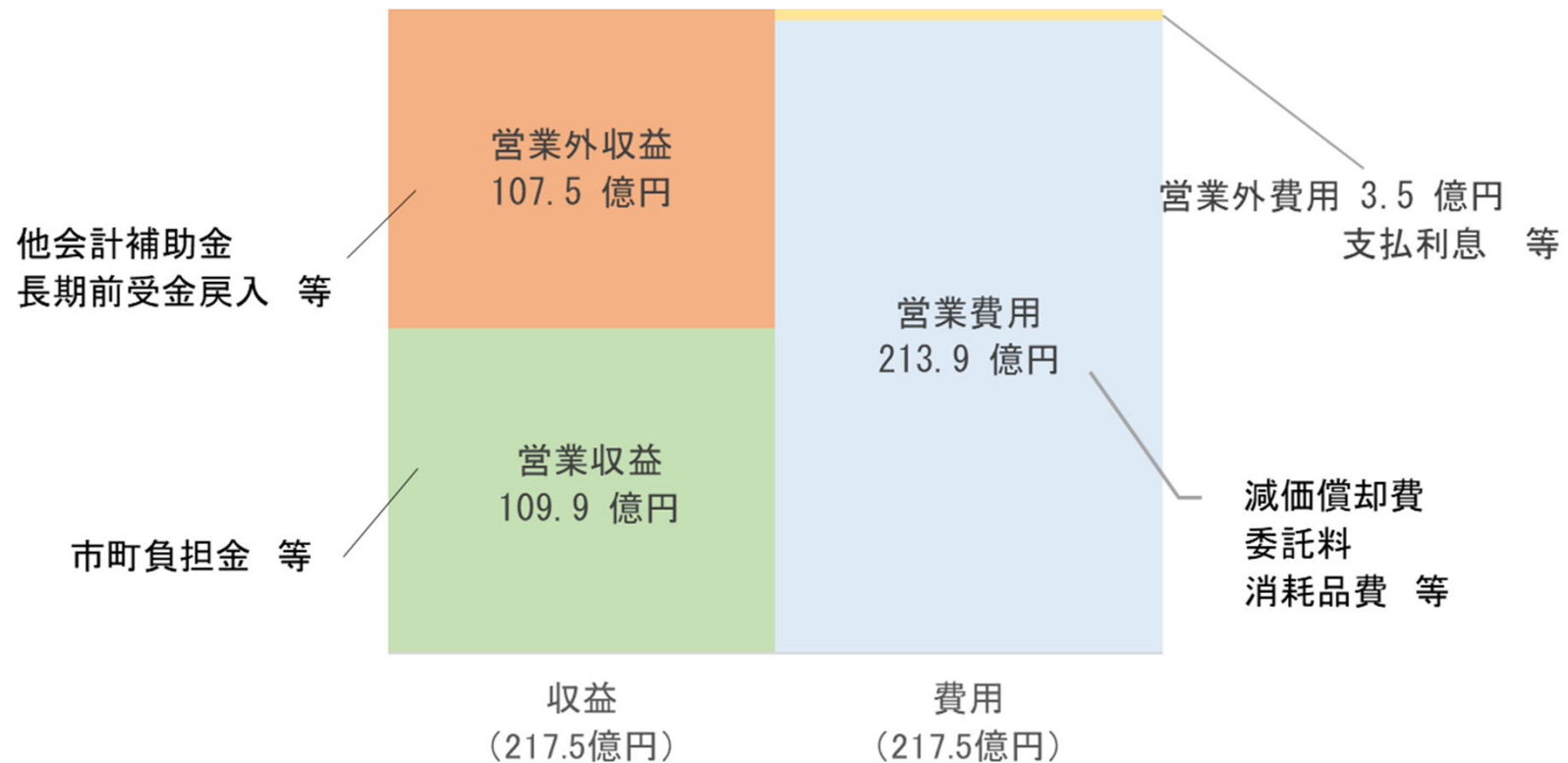
科目等	令和6年度 決算額 (A)	令和5年度 決算額 (B)	増減 A-B
資本的収入 a	6,662	5,857	805
(うち翌年度繰越額) b	(1,664)	(1,240)	424
企業債	1,153	1,118	35
他会計補助金	714	909	△ 195
国庫補助金	3,232	2,449	783
市町負担金等	1,563	1,379	184
資本的支出 c	7,933	7,748	185
建設改良費	5,910	5,577	333
企業債償還金	2,023	2,171	△ 148
補填財源(a-b-c) d	△ 2,935	△ 3,131	196



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和6年度の資本的支出に対する財源（令和6年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。

3. グラフで見る決算書

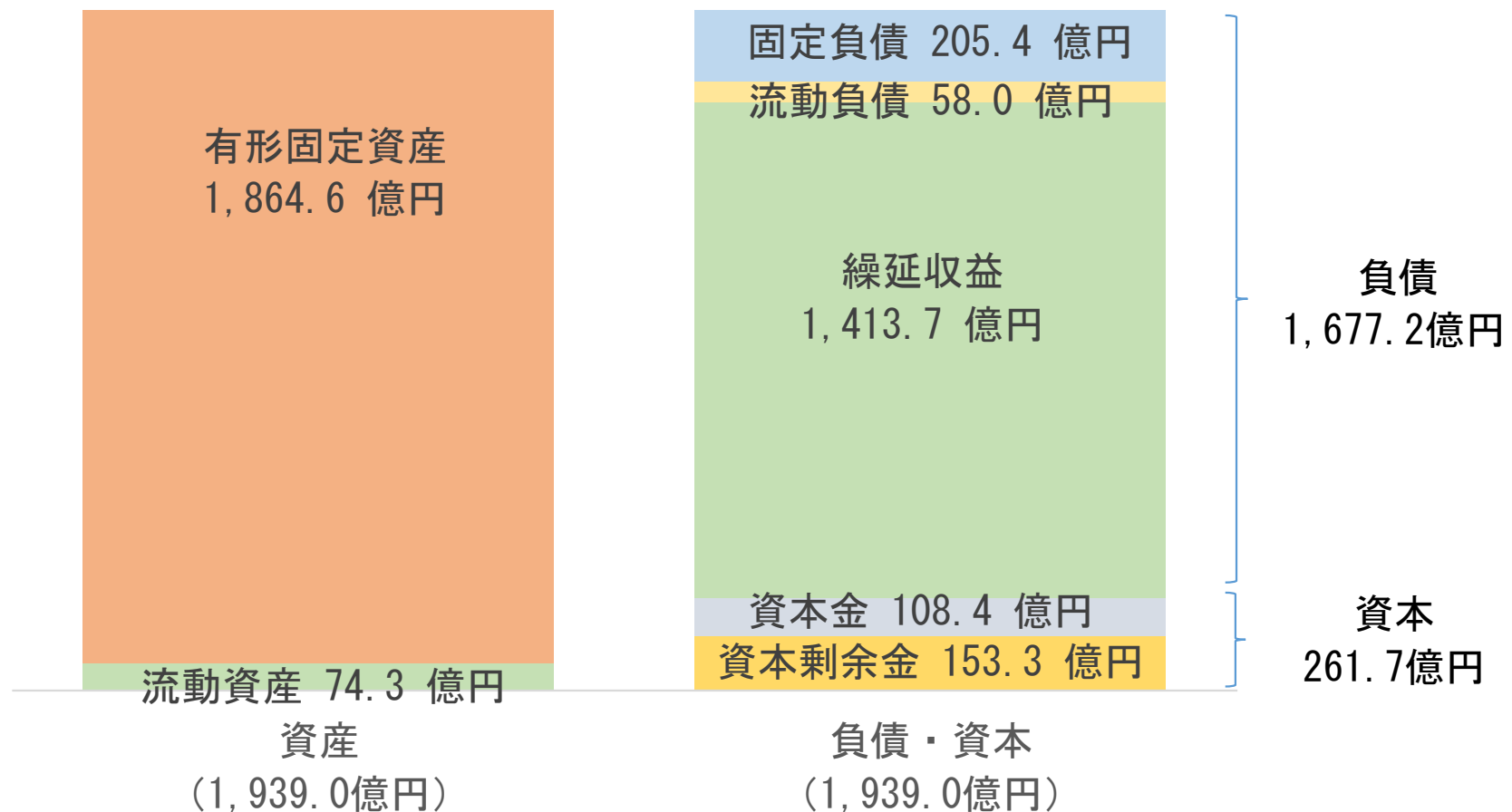
(1) 損益計算書グラフ



○本県の流域下水道事業では、県及び市町との協議により、費用に応じて市町負担金等を収益にしているため、損益は生じない。

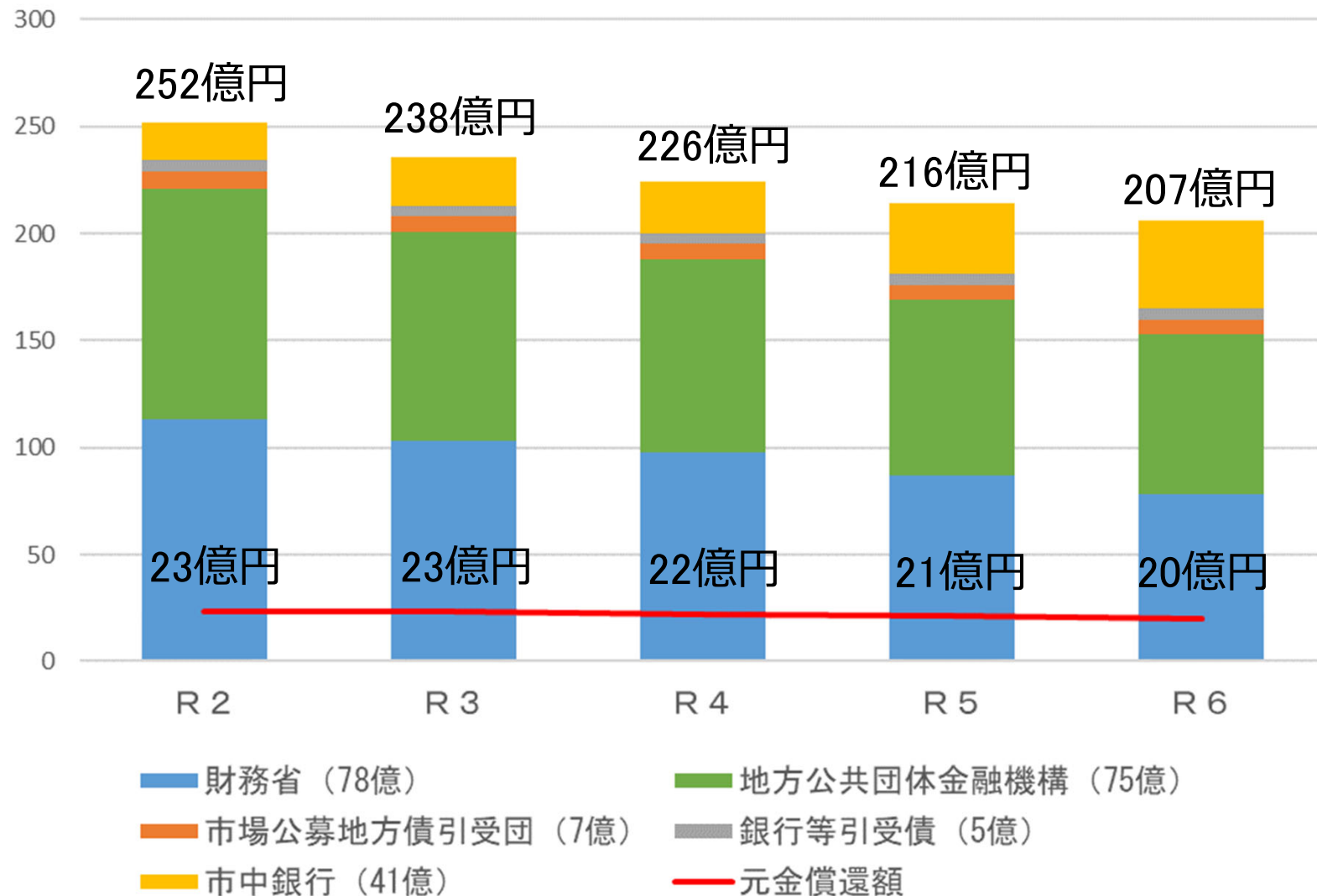
3. グラフで見る決算書

(2) 貸借対照表グラフ



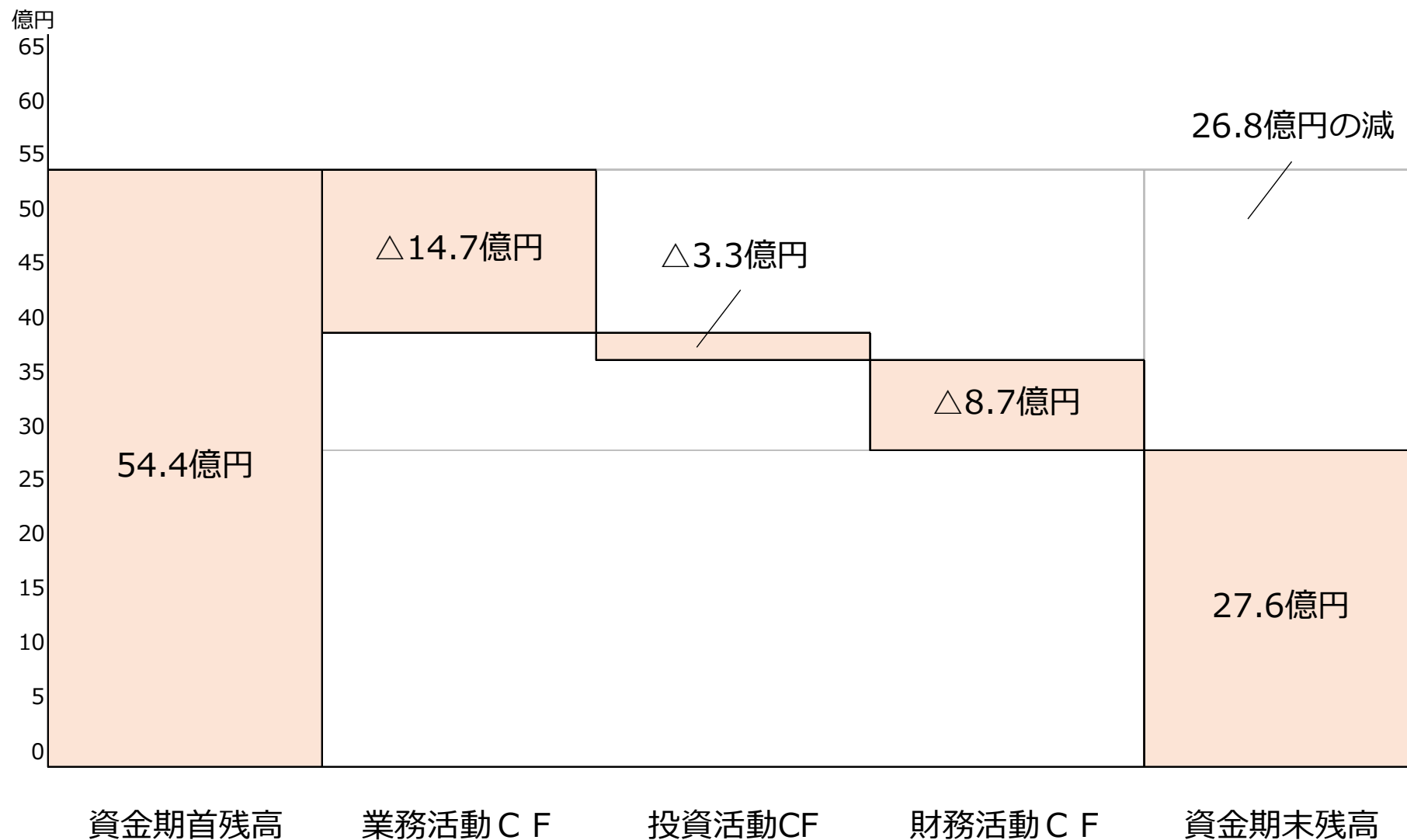
3. グラフで見る決算書

(3) 企業債残高の推移



3. グラフで見る決算書

(4) キャッシュフローグラフ



3. グラフで見る決算書

<参考>神奈川県流域下水道事業経営ビジョンにおける収支の見通しとの比較

(単位：百万円)

科目等		令和6年度 決算額(A)	令和6年度 経営ビジョン(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入 a	22,871	23,022	△ 151
	営 業 収 益	12,092	12,197	△ 105
	市 町 維 持 管 理 負 担 金	12,092	12,197	△ 105
	営 業 外 収 益	10,778	10,825	△ 47
	長 期 前 受 金 戻 入	8,658	8,755	△ 97
	一 般 会 計 繰 入 金	1,993	2,064	△ 71
	そ の 他	126	6	120
	収 益 的 支 出 b	22,814	23,022	△ 208
	営 業 費 用	22,468	22,714	△ 246
	維 持 管 理 費 等	12,126	12,178	△ 52
収 支	減 価 償 却 費 等	10,341	10,536	△ 195
	営 業 外 費 用	346	308	38
	消費税資本的収支調整額 c	57	0	57
	当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	0	0	0
	資 本 的 収 入 e	4,998	8,850	△ 3,852
	企 業 債 金	1,151	1,739	△ 588
	国 庫 補 助 金	2,736	4,469	△ 1,733
	一 般 会 計 繰 入 金	706	879	△ 173
	市 町 建 設 負 担 金 等	404	1,762	△ 1,358
	資 本 的 支 出 f	7,933	10,631	△ 2,698
資 本 的 収 支	建 設 改 良 費 金	5,910	8,597	△ 2,687
	企 業 債 償 還 金	2,023	2,034	△ 11
	資本的収支財源過不足額(e-f) g	△ 2,935	△ 1,781	△ 1,154
	資本的収支不足額の補填財源	2,935	1,781	1,154

※ 資本的収入の額は、令和6年度の資本的支出に対する財源（令和6年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。